

県連ニュース

2008年2月1日発行
栃木県勤労者山岳連盟

第2回各会代表者 正副会長 理事 合同会議報告・・・	1
07年度 県連活動報告・・・	2
新加盟会のお知らせ・・・	2
栃木県連ハイキング楽校実技山行(古賀志山)・・・	3

栃木県勤労者山岳連盟 07年度

第2回各会代表者 正副会長 理事 合同会議報告

08年1月21日(月) 19:30~21:00 雀の宮地区市民センター

各会代表者、県連正副会長及び理事 16名出席

議 題

- 1, 各会代表者紹介
- 2, 今年度実施した主な活動及び来年度に実施する活動への要望
今年度実施した活動について、別紙の通り報告があり、来年度も今年度と同様の活動を実施することで承認を得ました。
ハイキング楽校の内容や運営について話し合わせ、出された意見を取り入れて、来年度も運営をすることとなりました。
県連に加盟している各会やクラブ間の、交流山行を実施して行きたい旨提案があり、承認されました。
第6回登山学校開催の要項が説明され、承認されました。
- 3, 遭対基金に代わる経過措置としての「事後精算方式」について説明がありました
標題について、全国連理事より、「ROUSAN ニュース」2007年12月25日号に掲載されている、総会第一次議案中の「特別基金」の提案内容について説明がありました。なお、詳しくは、ROUSAN ニュース及び各会代表者、理事にお問い合わせください。
- 4, 第3回山岳環境分科会への出席について
第3回山岳環境分科会が2月に開催予定となり、県連より2名が出席することとなりました。

次回は、2月18日(月)正副会長理事合同会議(正副会長、理事)です
19:30より 雀の宮地区市民センター です。

栃木県勤労者山岳連盟 発行責任者：田村宣男 編集責任者：橋田弘一
321-0345 宇都宮市大谷町1109 TEL 028-652-4694
<http://www.geocities.jp/tochigirosan/>

07年度 県連活動報告 (全体に関するものを掲載しました。)

08年1月31日現在

3月26日 理事会
4月22日 足尾植樹祭参加
4月23日 第1回 各会代表者 正副会長 理事 合同会議
6月2～3日 五色沼避難小屋 ペンキ塗り
6月3日 県内クリーンハイク
6月11日 理事会
6月16日 谷川岳にて滑落死亡事故発生
6月23～24日 「第7回女性と登山全国集会in秩父」参加
6月24日 尾瀬燧裏林道にて傷害事故発生
6月25日 海外登山隊(アλπピークにアタック、コーセルグンジュ登頂)出発
7月13日 第2回山岳環境分科会 2名出席
7月30日 海外登山隊(アλπピークにアタック、コーセルグンジュ登頂)帰国
8月20日 理事会
9月1～2日 関東ブロック 役員交流会 1名出席
9月8日 全国組織担当者会議 1名出席
10月13日 県連交流ハイキング in 高原山
10月15日 理事会
10月20～21日 関東ブロック自然保護交流集会 3名出席
10月27日 五色沼避難小屋 屋根ペンキ塗り完了
11月17～18日 第19回全国海外登山集会 於:日光市
12月17日 理事会
1月21日 第2回 各会代表者 正副会長 理事 合同会議
1月27日 読図講習会
以下 予定
2月15日 第3回山岳環境分科会
2月16～17日 登山第28回全国総会
2月18日 正副会長理事合同会議
2月23～24日 関東ブロック 救助隊交流集会
3月16日 県連総会

新しく加盟された団体をお知らせいたします。

団体名	栃木遡好クラブ
事務所所在地	栃木県栃木市
会員数	男3名 女0名 計3名
全国連受理年月日	08年1月25日
団体コード番号	090402

皆様、よろしくお願いたします。

なお、代表者名や連絡先などは事務局または理事長までお問い合わせください。

第 10 回実技山行～古賀志山（岩場登降訓練）～

～ 岩場登降反復訓練 ～

日 時： 2008 年 1 月 14 日（月）：参加者 24 名（講師含む）

天 気：晴時々曇

コース：城山西小学校の奥の市駐車場集合・・・古賀志山不動滝（岩トレ）・・・市駐車場

今回の実技講習は、より現実に近い岩質である古賀志山不動滝における岩場登降訓練です。実施に当っては、大貫 C L、八木沢 S L より

通常はクライミングシューズでの登降ゲレンデなので、登山靴では難易度は上がるが、むしろ落下する時の感覚を経験するつもりでトライして欲しい。また、ビレイヤーも緊張感をもってしっかり確保することなどの注意があった。

以下、ハイキング楽校生の感想文を読んでください。

< 第 10 回実技山行記録、感想文 >

「古賀志山不動滝～岩場登降訓練（1月14日）～に参加して」

宇都宮 H C 鈴木秀樹

城山西小学校の奥の駐車場に集合して、不動滝に向かって歩きはじめる。まだ寒いのに何か汗が・・・。

「少し暑くなってきた」と呟くと、周囲から「馬鹿言っちゃいけないよ、こんなに寒いのに??？」との声。

これからの恐怖に対する冷や汗か？それとも夕べの・・・の所為か？

不動滝左壁と右壁の新人クラック付近に、3本ずつトップロープを設置し、訓練を開始する。

ハーネス装着、ビレイヤーとのロープ結合確認も手際よく、「登ります」「了解」とコールも軽やかに、各班ごとに、指先・体を十分温め、岩に取り付いていきました。

最初は、まだ岩が冷たく登攀途中で指が悴み、思う様にホールドを掴めず苦労していたが、鹿沼岩山 2 回の訓練の甲斐もあり、日が差し暖かくなるにつれ、何だカンダで各ルートを、次々にクリアー。「このルートは簡単、日陰で寒そうなので、私はパス」などと我侘な人も出てくる始末です。

一度断念した「新人クラック」にも 何人もが、登山靴で再チャレンジ、制覇？していきました。



八木沢 S L のお話



ハーネス装着などの準備



左壁面登攀訓練開始



ホールド、足の位置などの指導（大貫 C L）



左壁面登攀訓練

受講者全員、岩登りに それなりの自信を、つけてきた様である？。余裕が出てきたせいか、登攀途中「もっと岩から体離して」→「体は離してるけど、出てる腹が当たるんだ！」とか「右に良いホールドがあるよ」→「側で見るとホールドなんか無い！」とか容赦ない励まし・応援にも応えられる様になりました。緊張しつつ、和気藹々そして登りきると満面の笑顔、カメラに向かって“ポーズ” さらにギャラリーからの大歓声！（当日岩登りに来ていた他グループにとっては、迷惑だったでしょう！ごめんなさい。）



右壁面登攀訓練

今回は下期 鹿沼岩山から始まった岩登降訓練の3回目、岩登降としては最終の訓練となりました。



右壁面新人クラック

おっかなビックリ、途中で固まったり、パニックになったりで 始まった初回に比べ、何だかんだで何とか登りきる様になり、皆 格段の進歩を遂げました。



右壁面登攀訓練

大きなスタンス・ホールドが見つからないと、小さなスタンスやホールドに身を任せる様になりましたし、パニックにもならず ジックリと探せる様にもなりました。

確保技術も向上・余裕をもって確保でき、プレイヤーとして信頼される様にもなりました。大貫先生、八木沢校長、吉岡さんそして仲間の方々に、感謝 m(_ _)m 感謝です。

この3回の岩登降実技講習を通じ、受講者全員「岩登りに楽しさ」を、味わえたのではないのでしょうか。小生？「また来るかって？」「ムー・・・面白かった！でも もう当分いい！」「でも少し経ったら、またチャレンジしているかも！？ その時 また皆で 来れたらいいね！」

次回講習は、いよいよ「雪 と 氷」、アイゼン、ピッケル、輪かんやスノーシュー 「イヤー！面白そう」またきっと「雪山の楽しさ」に、皆引き摺り込まれて行くんでしょう